

平成30年度第1回新居浜市総合教育会議会議録

- 1 開催日時 平成31年2月14日（木）13:30～14:20
- 2 開催場所 市役所庁舎3階 市長応接室
- 3 出席者 新居浜市長 石川勝行、教育委員会教育長 関 福生
 教育委員会委員 宮内文久、本田郁代、近藤智佳、尾藤一彦
 事務局
 教育委員会事務局長、企画部長、
 教育力向上戦略監、教育委員会事務局次長、学校教育課長
 総合政策課長、総合政策課副課長
- 4 会議事項 (1) 小中学校の教育環境の整備と学力の向上について
 (2) その他

5 会議録

企画部	<p>定刻になりましたので、ただ今から、平成30年度 第1回 新居浜市総合教育会議を開催いたします。</p> <p>まず、構成員の皆様の出席状況でございますが、全員出席でございます。</p> <p>次に、会議公開の取扱いについてでございますが、本日の会議につきましては、非公開とする内容はないと考えられますので、原則どおり、本日の会議を公開とし、傍聴等を許可したいと思っておりますが、よろしいでしょうか。</p>
全員	(了承)
企画部長	<p>では、そのようにさせていただきます。</p> <p>それでは、会議の開会に当たりまして、主催者であります石川市長からご挨拶をいただきたいと思っております。</p> <p>市長、よろしくお願ひいたします</p>
市長	<p>本日は大変お忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。</p> <p>新居浜市総合教育会議の開催に際しまして、一言ご挨拶を申し上げたい</p>

<p>企画部長</p>	<p>と思います。</p> <p>平素より、皆様には、本市教育行政の推進に格別のご理解・ご協力をいただいておりますことに対しまして、この場をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。</p> <p>皆様ご案内のとおり、本日の新居浜市総合教育会議は、首長である私と、教育委員会の皆様が、十分な意思疎通を図り、本市教育の課題及び目指す姿等を共有し、同じ方向性のもと、連携して効果的に教育行政を推進していくために設置しているものでございます。</p> <p>本日、ご協議をお願いいたしております項目も、子どもたちが成長していく過程におきまして非常に重要なものであると認識いたしており、皆様からもより多くの忌憚のないご意見をお聞かせ賜りたいと存じます。</p> <p>どうか、よろしくをお願いいたします。</p> <p>ありがとうございました。</p> <p>会議の進行でございますが、この会議は市長が主宰するという形になっておりますので、以降の進行は石川市長にお願いしたいと思っております。</p> <p>では、石川市長よろしくをお願いいたします。</p>
<p>市長</p>	<p>それでは、これより進行を務めさせていただきます。</p> <p>本日の協議事項は、「小中学校の教育環境の整備と学力向上について」でございます。</p> <p>平成30年度の国からの通知により「平成30年度以降の学校におけるICT環境整備の方針」が示されたこと。また最近の異常気象による熱中症の多発や、大阪北部地震で起きたブロック塀による痛ましい事故など、子どもたちを取り巻く環境が変化しております。本市でも子どもたちの教育・学習環境の向上が喫緊の課題であると感じております。</p> <p>昨年12月には国の補正予算を活用し、市内全小中学校のエアコンの整備を、また通学路の危険なブロック塀を撤去する際の補助制度を設けるなどハード面の整備や、放課後まなび塾の拡充など、ソフトの面でも教育環境をサポートできたらと考えております。今回来年度予算を踏まえ、教育委員会におかれまして、様々な施策をされたとのことですので、本日はこの案につきまして、協議したいと思っております。</p> <p>それでは、詳細につきまして、教育委員会事務局から説明をお願いします。</p>
<p>事務局</p>	<p>(資料を基に説明)</p>

市長	教育委員会事務局から「小中学校の教育環境の整備と学力向上について」を説明いただきましたが、ただ今の説明に関しまして、ご不明な点も含めまして、ご質問やご意見がございましたら、お願いいたします。
尾藤委員	教育環境の整備の中で、統合型校務支援システムの整備とありますが、これはどういったものなのでしょうか？
事務局	現在学校のほうで作成しております出席名簿、通知表、指導要領などにつきましては、それぞれエクセルなどのアプリケーションやソフトを使うなど、各学校でまちまちになっておりました。これを市内統一のシステムを導入することによって、同じ様式の書類になったり、各学年や学校間のデータの引継ぎができるようになります。このことから、先生の負担の軽減を図ることができ、生徒に携わる時間がより多く取れるように見込まれるなど、業務の支援を図っていきたいと考えております。
尾藤委員	資料の中で、超高速インターネットの整備とあるが、この超高速とはどういったレベルになるのでしょうか？
事務局	通常の一般家庭で言う光回線程度を想定しております。学校向けに特に大容量通信施設を整備しようというのではなく、学校教育環境が遅れていることから、世間一般程度の整備を想定しております。
宮内委員	2点お伺いしたいのですが。まず一点、教科書が変わるとその教科書をサポートする教材やソフトウェアも全て変わってしまいますよね。
事務局	新学習要領に変更となるたびに、ご質問のように教科書のみならず、先生が使用しているデジタル教科書など、全ての教材は変更になります。
宮内委員	次に大型提示装置の整備ということですが、既に何校かで導入している電子黒板との違いはあるのでしょうか？電子黒板と全く違うものとなると、使用に際して習熟するまで先生の負担は大変だと思うのですが？
事務局	大型提示装置につきましては、プロジェクターでありますとか先ほどおっしゃられました電子黒板を指しております、平成31年度中の整備を目指しております。平成31年度以降もタブレットの整備などICTの環

<p>本田委員</p>	<p>境を整えることを検討しています。そのため、パソコン等 I C T に不慣れな先生の負担軽減についても、支援の方法等を検討してまいりたいと考えています。</p> <p>普通教室の大型提示装置ですが、学校訪問をさせて頂くと、ある校ではかなりの頻度で先生方が利用されています。100%整備ということになると、教材研究の時間短縮や子どもたちのわかる授業への一助となると思うので、是非すすめていって欲しい。ただ一方で、なかなか不慣れな先生方もいらっしゃると思うので、研修も兼ねてサポートする人員体制も整えて頂けたらと思います。次に統合型校務システムですが、今までは各学校まちまちであったため、人事異動があると、慣れるのに時間がかかったり大変でしたが、統合型ということで、市内共通のシステムになるのは先生方にとってすごくありがたいことだと思う。またシステムについては通知表なども含まれると思うが、現在市内の学校独自で作成していてまちまちであるため、運用の前には学校の現場の先生方とも協議の場を設けて、よりよい統一したものになるようにして欲しい。</p>
<p>事務局</p>	<p>I C T の支援員についても、平成32年度以降の取り組みの中で検討してまいりたいと考えています。統合型校務支援システムは平成31年度に導入しますが、本格的な運用は平成32年度からと考えております。平成31年度中に現場の先生方の意見も反映しながら、システムの構築を図ってまいりたいと考えております。</p>
<p>宮内委員</p>	<p>セキュリティの関係で問題もあると思われませんが、端末を家でも使えると働き方改革にもなるのではないかと思う。また I C T を整備する中で、辞書は国語辞典だろうが英語辞典でも、電子辞書であれば簡単に探すことができます。しかし紙での辞書では、前後の単語やページをめくることで、違う単語が目についたり、こどもの学力向上や幅広い知識をつけるという点では、紙ベースでの辞書のほうが優れていると思われるので、電子辞書の使い方と同時に、こどもには紙の辞書の使い方でも是非指導して欲しい。</p>
<p>事務局</p>	<p>働き方改革が言われる中で、全国でもテレワークといった形で広まっていますが、セキュリティの問題や、仕事を持ち帰ることによる時間外労働の問題等がありますことから、検証を行ってまいりたいと考えております。また辞書については委員さんの仰るとおりでありますので、アナログの辞書の使い方でも教えていきたいと考えております。</p>

近藤委員	<p>コンピューターの整備について、今の世の中で当たり前のように使われているものが、学校で教えられないまま社会に出て行くという保護者の不安を感じています。親の経済的なこともあり、学校が唯一訓練できる場ということもあると思いますので、できるだけ早期に整備をお願い出来たらと思います。また技術の授業を参観したことがありますが、CADを使った授業ですが、先生が一人と補助員が一人であったため、ある生徒は全くついていかれず、片やある生徒はどんどん先に進んで、他の生徒の進捗を待っているような状況でありました。技術の授業のようなものでは、ボランティアに協力してもらおうといったような体制も必要ではないかと感じました。</p>
事務局	<p>コンピューターの整備状況につきましては、小学校についてはパソコン教室に20台程度、中学校では平均40台程度の整備状況となっております。こういった整備状況では、全員が満足な時間パソコンに触れる状況でないことから、来年度以降も導入について検討をしてみたいと考えております。</p>
尾藤委員	<p>ICT環境整備の中でパソコンの整備とあるが、タブレットを購入、リースするのか、キーボード付のパソコン或いはノートパソコンにするのか最近の子どもは、スマートフォンは触れても、パソコンは操作できないというようなケースもと聞いています。どのような整備方針であるのか伺いたい。</p>
事務局	<p>基本的にはキーボード付のものを整備することとなると思います。これからの整備で言えばできるだけ軽量で、持ち運びが可能なものを選ぶことになると、タブレット型が中心となっていくと思いますが、やはりキーボードを打てる、打てないが重要なポイントとなっておりますので、タブレットであってもキーボード付のものということになると思います。</p>
市長	<p>ICTについてはそれぞれ、様々なご意見やご質問を頂いたのですが、空調と学力向上につきましてもご意見を頂けたらと思います。</p>
宮内委員	<p>学校のような大きな施設では、構造によって空調の効きがかなり異なると思うので、できればセントラル方式でなく、各端末で調整できるように</p>

	<p>して欲しい。</p>
近藤委員	<p>とても細かいのですが、教室の温度設定はやはり28度なのですか？学校現場での取り決めはされているのでしょうか？</p>
事務局	<p>空調設備の効率化からも今は個別の空調施設の整備を考えております。また温度設定につきましては、環境省の目標温度設定はありますが、保健室や教室など、学校現場での状況に応じて、臨機応変に対応して頂けたらと思います。空調の整備は夏までには間に合わすことが難しい現状ですが、来年度中の整備はできる予定です。</p>
市長	<p>空調に続きまして、学力向上についてご意見をいただけたらと思います。どなたからでも結構ですので、ご意見をお願いします。</p>
宮内委員	<p>県内の学力テストの結果ですが、県内の学校と比較して読み解く力が劣っているのではないかと感じます。数学の暗算などはいいのですが、ゆっくり考える力、読み解く力というのを育んでもらえたらと思います。</p>
近藤委員	<p>長年の学力テストの結果を見せて頂きますと、先生方も当然努力して頂いているでしょうし、家庭学習も大事なのはわかりますが、学校の授業だけで学力は向上するのでしょうか？親の収入にもよると思うのですが、塾に通わせたり、通信教育を受けたりという話を聞きますと、そのあたりはどうなんだろうかと感じます。</p>
事務局	<p>放課後まなび塾は、委員さんがおっしゃったように、学校教育だけではフォローできない、ある一定の学習の習熟度を達成する為に拡充しようとしているものであります。本来であれば学校現場で全ての生徒に対して達成することができればいいのだと思いますが、最近の学力状況の分布を見ますと、こういった対策が必要な世の中に変化しているように感じます。</p>
市長	<p>学力テストについても何か意見はございますか？</p>
本田委員	<p>学力テストはあくまで、生徒を教える際の目安であったり、宮内委員がおっしゃった、読み解く力が弱いな、などといった分析用のツールとして活用されるなど、文部科学省も言っているように、この結果がすべてで無いというのも学校現場の先生の共通認識でもあると聞いています。</p>

市長	<p>学力テストの1点差、2点差で一喜一憂するものではないというのはわかりますが、いったん公表がされますと、一般の方たちはどうして？と、思ってしまいますし、そういった意見も出てくるのは仕方が無いと感じます。毎年毎年こういう形で発表がされるので、悩ましく感じております。</p>
近藤委員	<p>普通の子どもを持つ親としてはこの結果を見て、新居浜市はこうなんだとか、県内一位の松野町に住めば学力は上がるんだろうかと考えてしまうと思います。学力テストの結果だけを発表するのではなく、分析をして、こういった取り組みをしていますなどと、一緒に発表していくことで、評価は変わるんじゃないか思います。</p>
事務局	<p>放課後学び塾の拡充や指導員の配置など、そういったソフト面での学習支援の強化についても実行してまいりたいと考えております。</p>
宮内委員	<p>授業の中で一人の先生が前の教壇で教え、もう一人のサポートの先生が見回りをしてあげるというすごくいい制度があるのですが、そのサポートする先生が複数いれば、財政的な面では厳しいとは思いますが、きめ細かなケアができるのではないかと思います。</p>
市長	<p>せっかくですので、ICTや学力向上以外の教育行政全般について何かございますでしょうか？</p>
宮内委員	<p>今教育行政を取り巻く環境は昔と比べ、非常に大変だと痛感していますが、社会で問題になっているいじめや、虐待だけは新居浜市で起こらないよう願っております。</p>